



Subaru

ニュース755

男声合唱団

'21.4.30

4月2日昴定例レッスン実施後、4月レッスン 休止！ 引き続き5月レッスンも休止！ 変異種コロナ感染者激増！重症病床の 不足や「自宅療養者」の激増等医療崩壊！

2021年4月30日

5月からの昴団活動について

男声合唱団 昴 団長 千秋 昌弘

昴団員並びに関係者の皆さん

皆さん元気に過ごされていますか。4月11日に同様のメッセージで団活動の5月5日までの休止をお知らせしました。新型コロナウイルス感染者の急激な増加に伴う措置でした。

しかしまた、残念な決定をせざるを得ません。『まん延防止等特別措置』なるものでは感染を抑え込むことは全くできず、大阪府域は今や5月11日まで『緊急事態宣言』下にあり、しかも感染者数は日々記録を更新している状況です。

活動停止期間の5月5日が近づいてきたので、昨日再び今後の対応について運営委員の協議を始めました。いつまで活動停止を続けるかについてです。

大阪はとても収まっていく状況にはないというのが全員の思いです。

非常事態宣言中は活動を休まざるを得ない。

5月いっぱいまで休まざるを得ないなどの意見が皆さんから出されました。

ワクチンが行き渡るまでは無理だろうとの意見もあります。

正直なところ先を全く見通せないのが現状です。

重要な動き毎に判断をしていくほかないと考えています。煩雑にはなっても機会あるごとにこまめに判断をし、一日でも早く練習再開をめざしたいという思いです。

よって以下のように決定しました。

● 緊急事態宣言が発令されている間は、団活動を休止します。

当面は5月11日までですが、緊急事態宣言が延長された場合は次の終期までです。

● その後のことは、また区切りが近づいた時点で協議・決定することとします。

大阪府域は、感染者が大きく増加しているだけでなく、それに伴い医療体制が破綻しています。連日のニュースでも報じられているように、感染しても重症病床に入れず自宅待機を余儀なくされ、あげくは亡くなられる方が増えています。昨日29日は、過去最多の

44 人の方が亡くなられています。そして変異型のウイルスが主流となり強い感染力を示しています。

絶対に感染してはなりません。そのための細心の注意と努力を惜しまず、日々を過ごしてください。規則正しい生活と適度な運動を続けてください。

皆さんと一緒に歌える日を心待ちにしています。

「皆様

緊急事態に伴う団活動の停止が再び出されました。合唱できない日々が益々長くなります。皆さんがどのように日々過ごされているか、暮らしの工夫はどんなものがあるか、みんなで共有しませんか。

どうか近況、日々の想いをお寄せください。 2021年4月30日 山本宏司 」

昴の5月の団活動休止のやむなき状況を、千秋団長名で「5月からの団活動について」(4月30日)として団員・関係者の皆さまにお知らせします。

なお、4月は2日のレッスン後、団活動を休止していましたが、その間の事情等を、同じく千秋団長名で「再び昴の団活動の一時停止について」(4月11日)の文章として出しております。昴ホームページに掲載していますが、再録いたします。

なお、今回のレッスン等の休止決定の中で、山本副団長より、昴団員・関係者の皆さんへ、近況報告や情報交換の呼びかけも出されております。(「昴ニュース」編集子)

再び昴の団活動の一時停止について

2021年4月11日

男声合唱団 昴

団長 千秋 昌弘

昴団員並びに関係者の皆さん

皆さんいかがお過ごしですか。

3月に入ってから新型コロナの感染者数が大阪府域において急激な増加に転じ、昨日は過去最高の918人に至っています。危機的な状況が再び現れていることから、昴としてどう対応するか、運営委員の意見をお聞きしました。

現在大阪府域においては「まんえん防止等特別措置」なるものが発せられていますが、府民に求めるのは給付補償なしの自粛を罰則までつけて押し付けるのみで、感染者を抑え込める見通しが全く見えません。医療現場に対する手当も依然貧弱で、一度消した自らの赤信号を再び点灯し、「医療非常事態宣言」を発出する始末です。

高槻市では、既に公共施設での歌の利用ができません。また、団員の周りにも感染者というのが聞こえてきたという情報もあります。

今の感染拡大の主流は変異株によるものだと言われています。変異株は感染力が強く、より重症化しやすいといわれています。これまで以上に注意が求められています。

そこで、今後の活動について以下のように決定しました。

- 「まんえん防止等特別措置」が出されている5月5日までは、昴の活動を全て一旦停止します。
- いつ活動を再開するかは5月に入った時点で、改めて状況を踏まえて決めることといたします。

以上

追伸：活動中止はやむを得ないですが、またまた長期のレッスン空白となるので、是非自宅で歌の練習を続けてください。

可能なら新曲の音源を作ってもらえるとありがたいのですが。

メールの届かない団員への連絡の徹底をよろしくお願いします。

(投稿)

(各位 民医連の病院の院長さんが連名で声明を出しました。医療崩壊が始まっています。岡邑)

緊急声明

過去最悪の感染状況を直視し、速やかに感染抑制に全力を挙げることを要請します

2021年4月15日

大阪民主医療機関連合会会長大島民旗

耳原総合病院病院長河原林正敏

西淀病院病院長福島啓

コープおおさか病院院長西上喜房

東大阪生協病院院長橋田亜由美

吉村大阪府知事が1週間前倒して2月28日に緊急事態宣言の解除を行って以降、大阪の新型コロナウイルス感染者数は過去最悪のペースで増加しています。特に今回の流行は変異株の影響もあり、かつてないペースで重症者が増えており、4月14日時点で確保病床224床に対して重症者は239人とオーバーフロー状態であることが公表されています。昨日午後の状況では、すでに重症ベッドは「50人待ち」の状況とのことです。

民医連に加盟している大阪の4病院の状況をお伝えします。耳原総合病院では重点医療機関として疑似症用2床を含む5床を届出していますが、この間これを上回る受け入れの状況が発生しており、4月14日現在、陽性患者5名、疑似症患者6名が入院しています。うち1名の患者さんは重症化して人工呼吸管理を行っており、ECMOも想定した対応を府フォローアップセンターに相談しましたが転送困難な状況となっています。西淀病院ではコロナ受け入れ病床1床に対して3名のCOVID-19の方が入院され、うち1名は人工呼吸管理が必要な重症患者ですが、まだ転院のめどがたっていません。発熱外来は1日12~20枠ですが、連日その枠を超える患者数に対応しており、PCR陽性率も20%以上に上がってきています。コープおおさか病院では、連日発熱などの患者さんが押し寄せ、コロナ陽性者もこれまでにない勢いで確認されております。コロナ受入医療機関ではありませんが、近くの救急隊からコロナ陽性患者の受入要請がある状況です。東大阪生協病院は、発熱外来で3月の陽性率10%から4月は陽性率21%と急増しており、診断した中等症患者の転送先がなかなか見つからず、動線を分けられない小規模病院であるにもかかわらず、保健所からは当院への入院を強く要請されました。

患者を適切な治療の場で治療できない状態が大阪中で発生しており、すでに「医療崩壊」を起こしています。吉村知事が19日まで判断を待つことは、感染者のピークアウトを遅らせることでしかありません。大阪のコロナ患者の死亡率は2%で、1日1000人の感染者が発生することは、のちに1日20人の命が奪われることを意味していますが、治療可能なベッドが無ければ、死亡率は比較にならないほど上昇します。私たちは吉村大阪府知事と特に感染流行の中心地である松井大阪市長に対し、すでに緊急非常事態であるという認識に立ち、一刻も早く感染を強く抑え込むため、昼夜を問わない会食の自粛、マスクなしでの会話の禁止と人の密集を避けるために、従来以上の総合的な対策と保障を抜本的に進めることを要望します。

=以上=

(追記) 4月2日のレッスンについて、ニュースに記載していませんでした。記録として今号に掲載します。(編集子)



4月2日(金)昴レッスン風景(テナーパートを撮影・1/2の人数で)ねむかホールにて

□4月2日(金)定例レッスン報告 (以後4月レッスンは再度休止となりました)

3月の緊急事態宣言(第2回)の解除のもとレッスンが3月より再開され、ようやく1か月間のレッスンが進み、引き続き4月の第1回目の定例レッスンは18:00~20:00ねむかホールにて開催されました。

2日は、参加者全員でのレッスンは、ねむかホールではできないため、参加者を1班・2班に分けたうえで、1班のレッスンとなりました。

当日は、奥村さんの体操・千秋さんの発声練習のあと、伊藤さんの指揮で、今回からレッスンに加える新曲の一つ、ロシア歌曲「前線にも春が来た(鶯)」から始めました。

休憩・部屋の通風・換気の時間をはさんで、石若雅弥編曲の2部合唱メドレー「フォスター名曲集」の中の「草競馬」「夢路より」「主人(あるじ)は冷たい土の中に」の3曲を楽譜を読みながら合唱しました。

再度の休憩をはさみ、その間、千秋さんが創作曲「プラットフォームから天国へ」の歌唱紹介があり、みんなで歌いました。

最後に、千秋作詞・森作曲「終わりの始まり(ノーモアヒバクシャ)」を、3月24日訂正楽譜に基づき、4部で合わせていきました。

レッスンの参加者は、全参加者15名、団員は14名(T1:5名、T2:3名、BR:4名、BS:2名)でした。ピアノ伴奏は門万沙子さんでした。

(報告・連絡事項)

(1)4月2日のレッスンより、新曲に取り組むことになりましたが、3月19日技術委員会と3月21日の運営委員会のなかで、13回コンサートについて、「企画面」の検討を行いました。そのなかで、プログラムの曲目の変更について以下のように決めました。

①「草競馬」:現在歌っている4部合唱曲は編曲等が難しく、うまく歌えていない、また歌える状況にない。聴き手にはよく知られているフォスターの曲は、「ケンタッキーの我が家」とともに、2曲はぜひ残したい。2部合唱「フォスターメドレー」に差し替えて、「ケンタッキーの我が家」へとつなげていきたい。

②「コロナ終息後の時期に開催する気分にあふさわしい曲」の追加を！

・13回コンサートは、2022年1月？新春開催なので、「春をうたう」イメージを！例えば、「春よ来い早く来い」(童謡)＋「早春譜」＋「ウグイス」(前線にも春が来た)を3曲続けて歌ってみてはどうか。

③・核兵器禁止条約の発効、平和を求める！:「鶴」「鳥の歌」(カザルス作曲・カタロニア民謡)「終わりの始まり(ノーモアヒバクシャ)」

・NPOピシヤワール会・故中村 哲氏に捧げる心熱き歌:「一粒の麦」

・「いのちのうた」

④以前のミーティングで出されていた曲:

・「大都会」、「心の旅」、男声合唱「貧窮問答歌」、

・男声3部「コーラスアルバム/アカペラ編曲・日本の名曲集」

以上の新しい曲目の検討については、8月昇総会開催までには決める。その間のレッスン時に各曲の楽譜を団員に配布し、歌っていく中で選曲する方法を取りたい。

(2)合唱発表会(大阪南部合発8月1日＋LIC大阪合発9月12日)に向けた選曲について2曲での候補曲(6分30秒)で検討しました。

「U Boj!」(リピート無しで2分、フルで3分)＋2曲目？で難航しました。

候補曲として、

「母なるヴォルガを下りて」「ウグイス(はるをうたうぐいすよ)」「道」「鶴」(以上ロシア歌曲・民謡)

「地雷ではなく花をください」等から、レッスンで歌って決めます。

なお、「大阪合発・創作発表会」9月23日予定では、

「ブラックライブズマター」(2分30秒)「終わりの始まり(ノーモアヒバクシャ)」(3分50秒)の2曲または1曲を発表する予定です。